

まちの話題

TOPICS



4/25 ~5/15 はす がわ 鮭川に「こいのぼり」

鳥浜青壮年会が鳥浜貝塚公園横の鮭川に今年もこいのぼりを泳がせました。

依然として新型コロナウイルス感染症が収まらない中、今年は地元の小学生にも手伝ってもらい、晴天の4月25日に準備しました。

ワイワイガヤガヤ賑やかに作業した後、主催した鳥浜青壮年会の方は、「泳いでいるこいのぼりを子ども達みんなが眺めている姿を見ると、来年こそ自由に遊べるようになるようにと願ってやみません。町内外から鯉のぼりをご寄付いただき、ありがとうございました。」と話しました。



4/26 第1回若狭能倉座の神事能調査委員会開催

2017年に国選択無形民俗文化財に選ばれた「若狭能倉座の神事能」の調査委員会が開かれました。昨年2回の調査検討委員会を経て、国・県の補助を受けて本格調査が始まります。

能楽や民俗学に詳しい大学教授ら12人の委員と、調査員3人が委嘱されました。国の文化庁と県の担当者も参加しました。(リモート参加も含む)

今後各地の現地調査をし、現状の記録と文化財としての価値を調査した上で、報告書を作成していく予定です。

4/29 さん じゅう さん げん さん 三十三間山 山開き

春の登山シーズンの幕開けとして若狭町と滋賀県境にある三十三間山(842m)の山開き神事が行われました。主催した若狭三方五湖観光協会の竹越聡会長や森下前町長ら約30人が参列し、登山者の安全祈願と観光の発展を願いました。

任期最後のイベントとなった森下前町長は「コロナ禍の中で観光の大変な事態が続いていますが、関係者の皆さんはこれまでの経験を生かし、粘り強く立ち向かっていただきたいと思います。町としても支援を怠りなく続けていきます」と挨拶しました。

時折激しく雨の降る悪天候となったものの、テープカットの後、地元登山者やツアー客が祈念登山を行いました。



4/30 森下前町長退任式

任期満了を迎えた森下前町長の退任式がリブラ若狭（中央）2階講堂で行われました。

その中で森下前町長は3期12年を振り返り、職員らに前にお礼を述べ「明るく元気で笑顔いっぱい」のまちづくりを目指して欲しいとエールを送りました。

同じく退任された玉井前副町長、中村前教育長もそれぞれ「今は清々しい気持ち」「職員の皆さんに感謝します」と挨拶しました。その後、役場三方庁舎前で約250人の職員らが拍手と笑顔で見送りました。



5/6 渡辺新町長就任式



渡辺新町長がこの日8時に初めて登庁し、役場三方庁舎玄関前で約250人の職員らが拍手で迎えました。深くとお辞儀をし花束を受け取りました。その後、リブラ若狭で行われた就任式で、集まった職員らに前「議員7年の経験と、約1年くまなく町内を回らせていただいて、現状を肌で感じながら今後の若狭町を思い描きました。コロナ対策、災害対策、介護福祉、子育てなど、住民の皆さんの安心のため、どうか力を貸していただきたい」と訓示されました。そして「新しい視点でチャレンジして、若狭町のさらなる発展のため努力していきたい」と述べられました。

5/8 あべ弘士さんとキリンをつくろう！

人気絵本作家あべ弘士さんによるワークショップをパレア若狭で開催しました。町内外から参加した年長から小学生の親子11組26人が、ダンボールなどを材料に夢中でキリンを作りました。あべさんは「子どもたちはどこにでもある材料を使って創造することができます。生き生きとしたいつもとちがう一面がみれますよ。」と話しました。



あべさんは北海道旭川市出身で、旭山動物園の飼育係として25年間多くの動物を担当し、退職後は全国各地で作品展を開催、絵本作家として200冊以上の絵本を著しています。

ギャラリーでは原画の作品展を行ったほか、9日にはNHK・Eテレの子供番組に出演しているおおかみ静流さんらと「0歳からのゆっくりゆったりコンサート」に出演し、音楽に合わせて絵を描くライブペイントを披露しました。完成した作品は図書館パレア館で展示しています。

5/12 三方小学校「ゆりかご米」田植え



鳥浜の学校田で4～6年生約50人が泥んこになりながら無農薬の特別栽培米「ゆりかご米」の田植えをしました。

平成23年より町と連携してコイやフナを米と同時に育て、地元の生態系の保全について学んでもらおうと始め、今日まで続いています。今年も松村光洋さん（鳥浜）の指導で植えるところの目印をつける「枠回し」をし、苗を4、5本ずつ植えました。最後にコイやフナの卵がついた「シュロ」を大きな声で「大きくなってね」と声をかけて沈めました。



今後は5年生が中心となり9月の収穫に向け草取りなどの世話や、魚の観察を続けていく予定です。

5/16 初夏のコンサートinみさきち

福井市の県立音楽堂「ハーモニーホール」で開かれる全国レベルのクラシックコンサートを県内各地で楽しんでもらおうと、若狭町みさき漁村体験施設「みさきち」(神子)の体育館でヴァイオリンコンサートが開かれました。

福井県文化振興事業団が企画したもので、運営も西浦地域づくり協議会のメンバーと協力してコロナ対策も音楽堂と同じレベルで実施しました。

東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターのヴァイオリニスト近藤薫さんと福井市出身のピアニスト竹沢友里さんが、聞き馴染みのある小曲からベートーヴェン、シューベルトといった本格的な大曲まで一時間にわたり合間には曲目説明や裏話などユーモアを交えながら演奏しました。地元子ども達からお年寄りまで約50人が最後まで真剣に聞き入っていました。アンコールでは本会場である旧岬小学校の校歌も飛び出し、会場が一体となり合唱しました。

最前列で聞いていた人は「こんな間近で生まれて初めてクラシックを生で聞かせてもらい大変気持ちよかった」と興奮気味に話していました。



5/21 新型コロナワクチン集団接種開始

全国で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症終息の切り札として、ワクチンの接種が若狭町で始まりしました。65歳以上の方を対象とした集落別集団接種で、2回の接種を7月中に終える予定です。



この日は55人が接種され、受付での検温、体調の確認、続いて予診票の確認、医師の予診の後、主に看護師さんがワクチン接種をし、経過観察のうえ帰宅されました。会場までの移動手段のない方にはバスも用意されスムーズに接種されていました。

次の対象者は基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者及び60歳～64歳の方になります。

5/29 東京2020オリンピック聖火リレー若狭町ルート

東京オリンピックまで55日となったこの日、福井県の聖火リレーが行われ、若狭町では総勢12名のランナーが聖火をつなぎました。

最初のランナーとして、若狭町スポーツ推進委員長もり い ひろいちの森井宏一さん(堤)が小浜市からの火を引き継ぎ「スポーツが元気の源です!!」とトーチを高く掲げ、役場三方庁舎前をスタートしました。

最終のランナーの高橋花帆さんたかはし か ほ(無悪出身)は、「感謝を胸に頑張って走ります!!」と笑顔でコースを駆け抜けました。

敦賀高校1年生の森川芽衣さんもりかわ め い(井ノ口)も力強い走り聖火ランナーを務めました。



森井宏一さん



高橋花帆さん

安全で安心な上下水道に向けて

Vol.12

若狭町上下水道ビジョンとSDGs(エスディーゼーズ)



最近、「SDGs(持続可能な開発目標)」という言葉やマーク(ロゴ)をよく見かけます。

SDGsとは、国際社会が持続可能な発展のために2030年までに達成すべき目標として、2015年9月に国連サミットにて全会一致で採択されたものです。貧困や飢餓の撲滅、教育の確保の他、まちづくり、水・衛生、海洋資源等、17項目の国際目標が掲げられ、持続可能な地域社会の構築のため、グローバル・パートナーシップ(地球規模の協力関係)で目標を達成するとされています。

昨年策定した「若狭町上下水道ビジョン」でも、このSDGsの考え方を踏まえ、基本目標を掲げています。



SDGs(エスディーゼーズ)とは?

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

安全

適正な水質管理に基づき、いつまでも住民が安心して利用できる、安全で信頼される上下水道



下水道キャラクター
スイス

強靱

危機管理体制の確立により、災害に強く、たくましい上下水道



持続

将来を見据えた健全な事業運営により、いつまでも住民の近くにありつづける上下水道



環境

環境にやさしく、水循環に貢献する上下水道



水道キャラクター
Dr.すいど

みかた温泉 きららの湯 健康通信 第12回

耳鳴りー加齢性難聴に伴う耳鳴りーのツボ療法

耳鳴りの原因と病態

耳鳴りは日本人の15%、高齢者では30%程度にみられると報告されています。何らかの疾患による耳鳴りであれば、その疾患に特徴的な症状を伴います。めまいを伴えばメニエル病、自分の声が響くならば中耳炎、頭痛や肩こりを伴う耳鳴りは高血圧・低血圧や貧血がうたがわれます。これら原因疾患の治療が耳鳴りの軽減に重要です。

一方、高齢者にみられる耳鳴りの多くは加齢性難聴に伴う耳鳴りです。内耳機構の加齢変化により聴力が低下して聞こえにくくなると、脳の興奮が生じて脳内に本来は存在しない音を作り出します。これが耳鳴りとして自覚されます。

耳鳴りのセルフケア

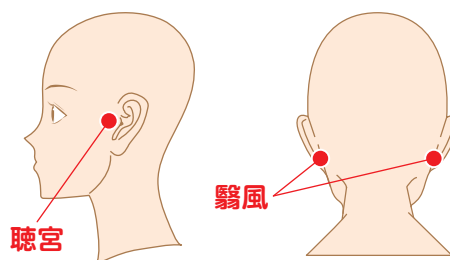
加齢性難聴に伴う耳鳴りはストレスや睡眠不足で症状が強くなります。十分な睡眠や適度な運動、規則正しい食習慣を心がけましょう。耳鳴りよりも小さく静かな音(自然の環境音など)を聴き続けることで脳の興奮を抑え、耳鳴りに慣れるようにする音響療法とよばれるケアもあります。

耳鳴りのツボ「聴宮」「翳風」

聴宮…口を開けた時に耳前にできるくぼみにとります。

翳風…耳たぶ後方の突起(乳様突起)前方のくぼみにとります。

いずれのツボも両手の人差し指か中指の腹で軽く押さえて5秒間保ちます。これを3回繰り返して1セットとします。1日3セット行いましょう。温泉につかりながらのツボ刺激は、耳周囲の血流を高めて効果的です。



新型コロナウイルス感染症の影響により
業況が悪化している飲食・宿泊業の業績回復を目的に

『お食事券の販売』と『若狭GoGoキャンペーン』を実施します！

お食事券
プレミアム付

お食事券
プレミアム付

若狭町飲食店応援 お食事券 第2弾 を販売します

～食べて飲んで飲食店を応援しよう！～

① 食事券概要

1冊あたり500円券10枚綴り(5,000円分)を
3,000円で販売【割引率40%】

② 販売総数

15,000冊

③ 販売期間

① 先行販売(町内世帯向け)

7/19(月)～8/31(火)

② 2次販売(町民、町内勤務者向け)

10/1(金)～1/7(金)

④ 販売場所・時間

若狭町内の郵便局

9:00～17:00(土・日・祝日除く)※平日のみ

⑤ 販売方法

① 先行販売…『購入引換券』が必要です。

1世帯4冊まで購入できます。

※購入対象となる世帯主の方へ『購入引換券』

および『使用可能店舗』を掲載したチラシを

7月上旬から順次送付させていただきます。

※販売総数に達した場合は、期間中でも販売を
終了させていただきます。

② 2次販売…先行販売で残数が出た場合に、

1人5冊まで購入できます。

⑥ 使用期間

7/19(月)～1/10(月・祝)

お問い合わせ

若狭町観光未来創造課 ☎0770-45-9111



若狭GoGo キャンペーン

お得に宿泊&周遊！

① 対象者

若狭町内の対象宿泊施設に、
1泊2食15,000円(税込)以上で
宿泊される方。

② 特典内容

町内宿泊施設宿泊料5,000円引きのほか、
町内観光施設の割引など8つの特典。

※特典券の受け取りは若狭三方五湖観光協会
(道の駅三方五湖)。

③ 対象宿泊期間

● 令和3年8月16日(月) 宿泊～
令和3年10月31日(日) 宿泊まで
【7月16日より受付開始】

● 令和3年11月1日(月) 宿泊～
令和4年2月27日(日) 宿泊まで
【10月1日より受付開始】

※先着順(発行予定枚数8,500枚)

※宿泊予約は直接宿泊施設へ

お問い合わせ

(一社) 若狭三方五湖観光協会

☎0770-45-0113

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により内容や
期間が変更になる可能性があります。

※詳細は決まり次第、
若狭三方五湖観光協会ホームページ等にて掲載予定。